

(2024年12月号掲載)

群馬県内企業の脱炭素の取り組みに関する調査

群馬経済研究所主任研究員 櫻澤広祥

調査のポイント

世界的に脱炭素の潮流が加速しているが、企業にとって脱炭素への取り組みと事業活動の両立には課題も多い。本稿では県内企業の取り組みの現状と課題を把握し、企業が脱炭素に取り組む糸口として、無料の「CO₂排出量の把握」ツールを中心に紹介する。

要約

- 脱炭素に取り組んでいる企業は約半数であり、前回調査（2022年2月実施）とほぼ変わらない結果となった。
- 取り組まない理由としては、「何をしたら良いかわからない」が5割強で最多となり、「取り組むためのノウハウ・スキルが不足」が4割弱で続いた。
- 取り組む際の相談相手では、「相談相手はいない」が4割強で最多となった。
- 脱炭素への取り組みのすそ野を広げるためには、取り組みが進まない企業への啓発強化が必要であり、特に相談窓口を活用したサポートが重要である。
- 脱炭素の取り組みについては、まずは「自社のCO₂排出量の把握」がスタートとなる。これから取り組む企業は近場の相談窓口の活用から始めることが望まれる。

<取り上げた相談窓口（支援機関）>

- ・前橋商工会議所：「CO₂チェックシート」の周知、活用促進の支援を行う。
- ・群馬県：脱炭素の取り組みにおける窓口相談、「CO₂チェックシート」の提供を行う。
- ・富岡市：脱炭素専門アドバイザー派遣、CO₂排出量可視化システム導入の支援を行う。